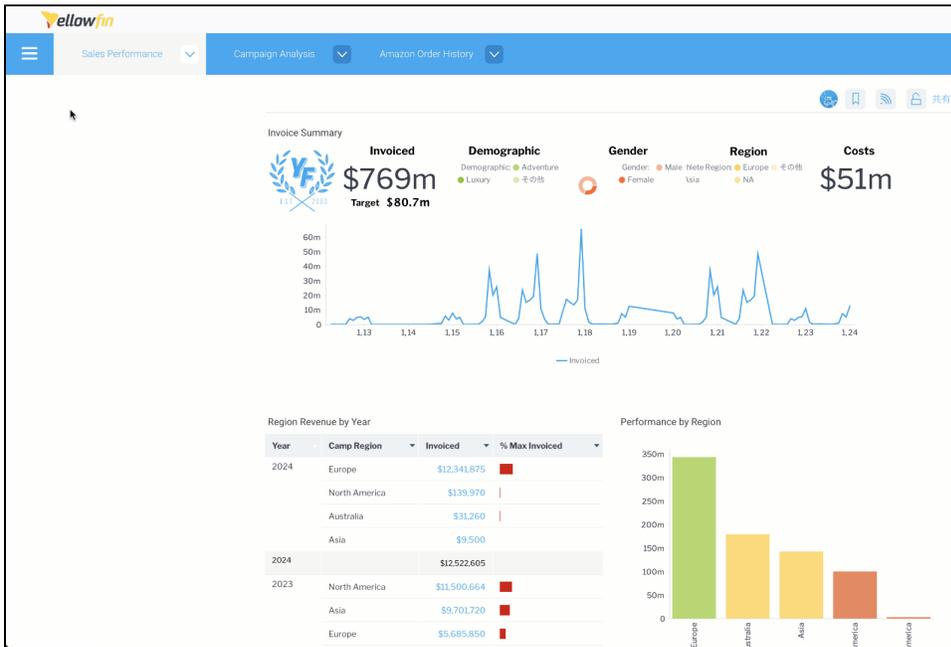
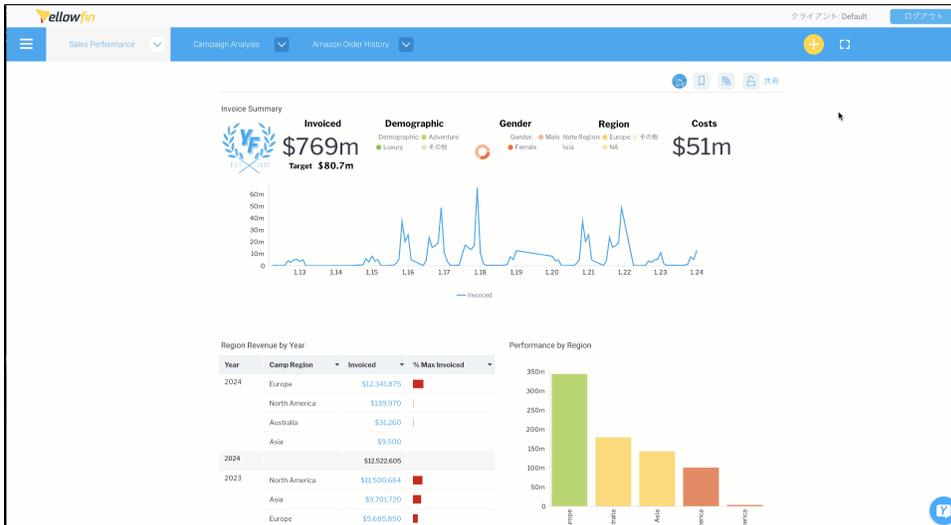


-
-
-
-
- CSV
- JNDI

YellowfinYellowfin

2





1. CSVJNDI

新規データソース作成 ×

追加するデータソースの種類を選択してください。

ポピュラーなデータソース

- Amazon Redshift
- Google BigQuery
- Microsoft SQL Server
- MySQL
- Oracle
- PostgreSQL
- Snowflake

キューブ

CSV

- Action Ingres ドライバー追加
- Action Pervasive ドライバー追加
- Action Vectorwise ドライバー追加
- Amazon Athena ドライバー追加
- Amazon RDS ドライバー追加
- Amazon Redshift ドライバー追加
- Apache Derby ドライバー追加
- Apache Hive ドライバー追加
- Apache Hive 2 ドライバー追加
- BMC Action Request ドライバー追加
- Clickhouse ドライバー追加

キャンセル

⚠ JNDISQL
 INSERT INTO Configuration(1, 'SYSTEM', 'JNDISOURCEENABLED', 'TRUE');

新規データソース作成 ×

追加するデータソースの種類を選択してください。

ポピュラーなデータソース	検索	
Amazon Redshift	Actian Ingres	ドライバー追加
Google BigQuery	Actian Pervasive	ドライバー追加
Microsoft SQL Server	Actian Vectorwise	ドライバー追加
MySQL	Amazon Athena	ドライバー追加
Oracle	Amazon RDS	
PostgreSQL	Amazon Redshift	ドライバー追加
Snowflake	Apache Derby	
キューブ	Apache Hive	ドライバー追加
CSV	Apache Hive 2	ドライバー追加
	BMC Action Request	ドライバー追加
	Clickhouse	ドライバー追加

[キャンセル](#)

新規データソース作成 ×

追加するデータソースの種類を選択してください。

ポピュラーなデータソース	検索	
Amazon Redshift	Actian Ingres	ドライバー追加
Google BigQuery	Actian Pervasive	ドライバー追加
Microsoft SQL Server	Actian Vectorwise	ドライバー追加
MySQL	Amazon Athena	ドライバー追加
Oracle	Amazon RDS	
PostgreSQL	Amazon Redshift	ドライバー追加
Snowflake	Apache Derby	
キューブ	Apache Hive	ドライバー追加
CSV	Apache Hive 2	ドライバー追加
	BMC Action Request	ドライバー追加
	Clickhouse	ドライバー追加

[キャンセル](#)

2. () &
: .jar .yfp

新規データソース作成
×

選択したデータソースに接続するためには、アプリケーションにドライバーをインストールする必要があります。お使いのデータソースに接続するためには、どのバージョンのドライバーが必要なのか、データベース管理者に確認してください。必要なファイルを入手したらアップロードしてください。

Amazon Athena はドライバーが必要です

ドライバーの名前

ドライバーの説明 (オプション)



ここにファイルをドラッグ&ドロップ
 アップロード可能なファイル形式： jar, yfp

ファイルを参照

← 戻る
保存
キャンセル

3. JDBC

新規データソース作成
×

接続方法 標準 接続文字

接続設定に必要な情報は、データベース管理者に確認してください。

認証アダプター ▼

SQLにスキーマを含める

データベースホスト

データベースポート

データベース名

JDBCドライバー ▼

ユーザー名

パスワード 

スキーマ ▼

← 戻る
保存
✓ テスト接続
キャンセル

新規データソース作成 ×

✓ データソースを保存しました

データソースへの接続に成功しました。

閉じる

新規データソース作成 ×

 PostgreSQL データベース

選択したデータソースの接続設定を登録しましょう。アプリケーション上でこのデータソース接続を判別しやすくするために、データソースの名前と説明を設定してください。

❗ 接続テストに失敗しました
エラーの原因: org.postgresql.util.PSQLException: The server requested SCRAM-based authentication, but no password was provided.

データソースの名前

データソースの説明 (オプション)

接続方法 標準 接続文字

接続設定に必要な情報は、データベース管理者に確認してください。

認証アダプター ▼

SQLにスキーマを含める

データベースホスト

1.

新規データソース作成
×

ポピュラーなデータソース

- Amazon Redshift
- Google BigQuery
- Microsoft SQL Server
- MySQL
- Oracle
- PostgreSQL
- Snowflake

キューブ

- CSV

追加するデータソースの種類を選択してください。

Actian Ingres	ドライバー追加
Actian Pervasive	ドライバー追加
Actian Vectorwise	ドライバー追加
Amazon Athena	ドライバー追加
Amazon RDS	
Amazon Redshift	ドライバー追加
Apache Derby	
Apache Hive	ドライバー追加
Apache Hive 2	ドライバー追加
BMC Action Request	ドライバー追加
Clickhouse	ドライバー追加

キャンセル

2.

新規データソース作成
×

キューブ

選択したデータソースの接続設定を登録しましょう。アプリケーション上でこのデータソース接続を判別しやすくするために、データソースの名前と説明を設定してください。

データソースの名前

データソースの説明 (オプション)

接続設定に必要な情報は、データベース管理者に確認してください。

認証アダプター

XMLA URL

URLは"http://"または"https://"で始まること

ユーザー名

パスワード

← 戻る

保存

テスト接続

キャンセル

	()
	Standard Authentication, Pass-through Autentication, Standard Authentication (No Pooling)
XMLA URL	XMLAURL

--	--

コネクションプール

最小接続数 ⓘ

最大接続数 ⓘ

更新時間 ⓘ

タイムアウト ⓘ

	0
	0

パラメーター

タイムゾーン ⓘ ▼

▲

ブロードキャスト ⓘ 有効

購読 ⓘ 有効

3. [XMLA](#)

CSV

CSV

1. **CSV**
:

新規データソース作成 ×

ポピュラーなデータソース

- Amazon Redshift
- Google BigQuery
- Microsoft SQL Server
- MySQL
- Oracle
- PostgreSQL
- Snowflake

キューブ

- CSV

追加するデータソースの種類を選択してください。

Actian Ingres	ドライバー追加
Actian Pervasive	ドライバー追加
Actian Vectorwise	ドライバー追加
Amazon Athena	ドライバー追加
Amazon RDS	
Amazon Redshift	ドライバー追加
Apache Derby	
Apache Hive	ドライバー追加
Apache Hive 2	ドライバー追加
BMC Action Request	ドライバー追加
Clickhouse	ドライバー追加

キャンセル

CSV

新規データソース作成 ×

CSV

CSVをアップロードするとデータがテーブルとして表示されるので、書式などを設定してください。

❗ **書き込み可能なデータソースはありません**
 エラーの原因: スプレッドシートを格納するには書き込み可能なデータベースが必要です。書き込み可能なデータベースは定義されていません。

データソースの名前

データソースの説明 (オプション)

データの保存先

ソースの選択
▼

ここに表示されない場合は、データソースが書き込み可能なデータベースとして定義されていることを確認してください。

↑

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
 アップロード可能なファイル形式: csv

ファイルを参照

← 戻る
データを作成する
キャンセル

2. CSV
 () &
 : CSV

フィールドの区切り

カンマ

小数点

カンマ

千単位区切文字

ファイルエンコーディング

UTF-8

精度

低精度

3. [CSV](#)

JNDI

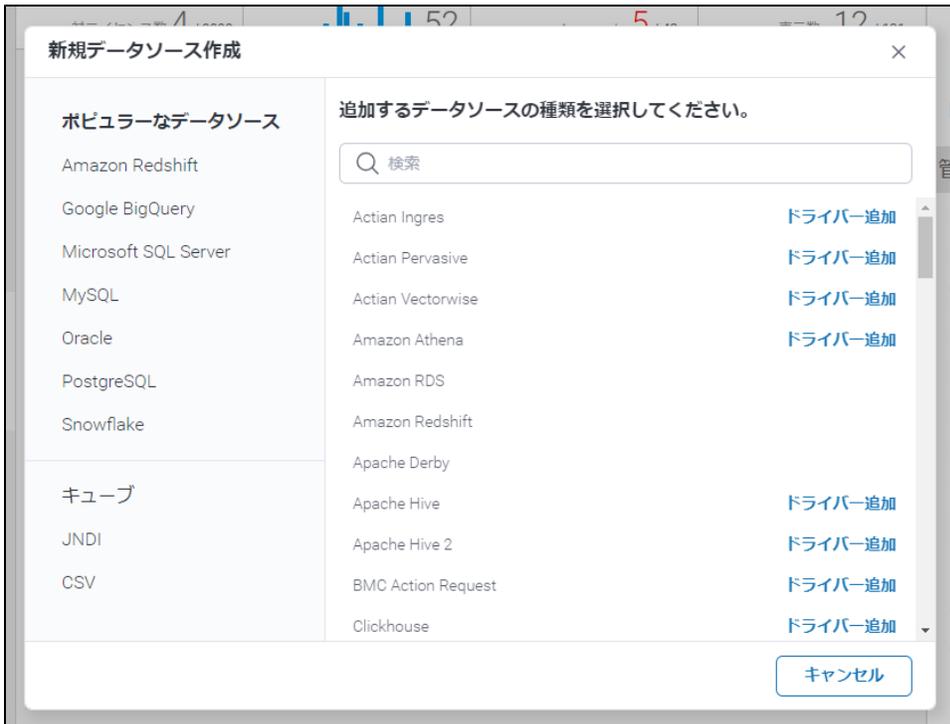
JNDISQL

`INSERT INTO Configuration(1, 'SYSTEM', 'JNDISOURCEENABLED', 'TRUE');`

[SQL](#)

JNDI

1. **JNDI**



2. **JNDI**

新規データソース作成

J JNDI

選択したデータソースの接続設定を登録しましょう。アプリケーション上でこのデータソース接続を判別しやすくするために、データソースの名前と説明を設定してください。

データソースの名前

データソースの説明 (オプション)

接続設定に必要な情報は、データベース管理者に確認してください。

認証アダプター Standard Authentication

JNDIデータソース名

高度

戻る 保存 テスト接続 キャンセル

3.